

教科名	国語科	科目名	文法
対象学年	中学1年	コース・選択	—
単位数	1単位	教科書 (出版社)	
使用教材	中学国文法のドリル (吉野教育図書)・ロジカル国語表現Ⅰ (好学出版)		
学習のねらい	これまで学習してきた日本語の断片的な知識を整理し、正しく理解する。また文章を正確に読みとり、わかりやすい文章を書かせるなど、正しいことばづかいを身につける。 論理的思考力と創造的表現力を育てるため「ロジカル国語表現Ⅰ」を使って、論理のしくみを基本から学ぶ。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	〔口語文法〕 1. ことばの単位 2. 文の組み立て	<ul style="list-style-type: none"> ・文節、単語などのことばの基本的な単位を理解する。 ・文節と文節の関係やその働きを理解する。 ・単語がその性質や働きによって品詞に分けられることを知る。 ・各品詞の特徴、特に活用について理解する。 ・言葉の使い方、文の組み立てを学び、書くことの基礎を身につける。 ・「接続語」、「因果関係」、「具体と抽象」、「対比」、「文章の構成」から論理のしくみを学ぶ。
	5月	文節と文節との関係・文の成分の位置 3. 単語の種類	
	6月	〔ロジカル国語表現Ⅰ〕 4. 単元1～3	
	7月	〔口語文法〕 5. 副詞 6. 接続詞	
	9月	7. 用言	
	10月	動詞・形容詞・形容動詞	
	11月		
	12月		
	1月		
	2月	〔ロジカル国語表現Ⅰ〕 8. { 単元4～7	
3月			
学習の留意点・評価など	・「読む」「書く」「聞く」「話す」などの日常生活の上で文法（ことばのきまり）を理解し、論理的な文章を書く力がついたか。		
備考			

教科名	国語科	科目名	講読
対象学年	中学2年	コース・選択	—
単位数	3単位	教科書 (出版社)	中学校国語2 (学校図書)
使用教材	「中学校国語2」(学校図書)「基礎の学習2」(新学社) 「ステップ別常用漢字」(浜島書店) 「愛知県版国語便覧」(浜島書店)「夏期・冬期・春期テキスト」(文理)		
学習のねらい	日本語に関して一年時に得た知識を基にさらに理解を深め、適切に表現する能力を養うことによって広く言語感覚を高めるとともに、日本文化について豊かに学ぶ姿勢を育てることを目標とする。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	「おたまじゃくしたち四五匹」(詩) 「昔話」(随想) 「吟味された言葉」(随想)	・詩を通して自分を見つめる。 ・筆者の現代社会への問いかけを理解する。
	5月	「逃げることは、ほんとにひきょうか」(説明)	・筆者の考えをもとに様々な場面を想定し、理解を深める。
	6月	弁論文の作成・発表 「サーカスの馬」(小説)	・主人公の人物像を読み取るとともに、その心の変化をとらえる。
	7月	「短歌」「短歌十五首」 「目撃者の眼」(随想)	・歌に描かれた世界を豊かに想像し、短歌特有の表現を味わう。 ・長崎の被爆に対する報道写真家の考えを読みとり、平和に対する思いを高める。
	9月	「平家物語」(古文)	・仮名遣いや語句の意味に注意しながら場面を読み解く。
	10月	「若者が文化を創造する」(説明)	・筆者の提示した事例を読み取り、文化とは何かを考える。
	11月	「論語」(漢文)	・訓読文を読みこなせるようにする。 ・論語の思想、日本への影響を理解する。
	12月	「壁に残された伝言」 (随想・プリント)	・3年修学旅行で見学するとよい広島市の袋町小学校にある「壁に残された伝言」について、理解を深め、関心をもつ。

学習内容の流れ	学期・月等	単元	ねらい
	1月	「走れメロス」(小説)	・登場人物の言動を通して、人間のあり方について考える。
	2月	「アラスカとの出会い」(随想)	・筆者の体験を参考に、人生を左右する出会いについて思いを巡らせる。
	3月	「徒然草」(古文)	・古い時代の思想にふれ、現代とのつながりを意識する。
学習の留意点・評価など			
備考			

教科名	国語科		科目名	口語文法・書写		
対象学年	中学2年		コース・選択	——		
単位数	1単位		教科書 (出版社)	中学校書写(学校図書)		
使用教材	クリティカル・シンキング〔エントリーⅠ〕(学研) 中学国文法のドリル(吉野教育図書)					
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な理解と適確な表現力を身につけるために断片的な文法の知識を系統的に学習し、それぞれの品詞の働きと意味について理解する。(口語文法) ・文字を正しく整えて速く書くことができるように行書の習得をするとともに、文字感覚の育成と書写能力を日常生活に役立てられることを目指す。(書写) ・与えられた資料を読み取り筋道を立てて答えを導くロジカルシンキングと、与えられた資料以外のことも考え物事を考察するクリティカルシンキングの2つの力を養い物事を立体的に考える力がつくことを目指す(クリティカルシンキング) 					
学習内容と流れ	学期・月等	単元		学期・月等	単元	
	4月	中間	【口語文法】 1. 助詞	11月	期末	【口語文法】 4. 助動詞 5. 敬語の用法 6. 紛らわしい品詞の見分け方
	5月		【クリティカル・シンキング】 2. Step 17~22	12月		(試験後)
	6月	期末	【口語文法】 2. 助詞	1月	学年末	【書写】 1. 行書の学習 行書の筆使いと字形 ・点画の連続、点画の変化と省略(硬筆) 2. いろは歌(毛筆) 3. ちらし書き(毛筆)
	7月		(試験後)			【クリティカル・シンキング】 1. Step 11~16
	9月	中間	【口語文法】 3. 助動詞	3月		
10月						
学習の留意点・評価など						

教科名	国語科	科目名	講読
対象学年	中学3年	コース・選択	——
単位数	3時間/週	教科書 (出版社)	中学校国語3 (学校図書)
使用教材	「中学校国語3」(学校図書)「基礎の学習国語3」(新学社)「愛知県版国語便覧」(浜島書店) 「ステップ別常用漢字」(浜島書店)「簡明小倉百人一首」(尚文出版) 「夏期・冬期・春期テキスト」(文理)		
学習のねらい	・漢字、語句、文字や文法などの基礎的事項を身につける。 ・筆者の主張や登場人物の心情などを文章や作品から読み取り、自分なりの意見や考えをもつ。 ・自分の考えをまとめ発表し合う力をつける。 ・古典の作品をとおして、古人の心情などを読み取る。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	言葉の共有(随想) ケナリも花、サクラも花(随想)	・表現を吟味して、言葉が生み出す絆を見つめる。 ・主体的に意味を生成する。
	5月	黒い雨(小説)	・表現を吟味して歴史における生についての理解を広げ深める。
	6月	ディズニールランドという聖地 批評する言葉	・価値観の起源を考える。 ・批評の言葉を見つける。
	7月	存在(詩)	・自己の意味を考える。
	9月	握手(小説) 文字を見抜く -表意文字と表音文字 -常用漢字表の話	・表現を吟味して歴史における生についての理解を広げ深める。
	10月	心を動かす言葉 運動会(説明・評論)	・聞き手の心をつかむ話し方を見つける。 ・表現を吟味して思考することの意味について考える。
	11月	俳句(俳句) パールハーバーの授業(随想)	・情景や心情、作品が書かれた社会的状況も捉える。 ・国際社会における人間のあり方について考える。 ・筆者の経験と、そこから得たものを読み取り、自らの経験を振り返る。
	12月	武蔵野の風景(説明・評論)	・歴史をふまえた論理的思考を深める。
	1月	故郷(小説) 文字を見抜く -平仮名と片仮名	・他者と共有し得る未来への願いを考える。
2月	顔の見える国際協力 (説明・評論)	・これからの国際協力について考える。	
3月	白い闇の方へ(詩)	・災害からの復興の課題と言葉との関係について考える。	
学習の留意点・評価など	・漢字、語句の意味などの基本的事項の定着を促す。 ・文章の種類と特徴を考え、中心となる主張や心情をとらえられるようにする。 ・補助教材や写真、映像などを用い、内容を実感に近づけてとらえられるようにする。		

教科名	国語科		科目名	古典
対象学年	中学3年		コース・選択	—
単位数	1単位		教科書 (出版社)	中学校国語3 (学校図書)
使用教材	基礎の学習3 (新学社) 古典文法クリアノート (尚文出版)			
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の文学世界を知り、古典に親しむ態度を養う。 ・文語文法の入り口に触れ、古文読解理解への足がかりを考えさせる。 			
学習内容と流れ	学期・月等	単元		ねらい
	4月	中間	随筆プリント 徒然草	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的かなづかい ・品詞、活用形の確認 ・動詞の学習 (四段活用) ・「係り結びの法則」の知識
	5月		仁和寺にある法師	
	6月	期末	万葉・古今・新古今	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞の学習 (その他の活用)
	7月			
	9月	中間	枕草子 春はあけぼの、うつくしきもの、 香炉峰の雪	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞の復習、定着
	10月			
	11月	期末	おくのほそ道 旅立ち、平泉	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞・形容動詞の学習
	12月			
	1月	学年末	漢詩 春望、送元二使安西、静夜思	<ul style="list-style-type: none"> ・用言の復習、定着 ・漢文訓読の確認と練習
2月				
3月				
学習の留意点・評価など	文語文法の習得を基盤に据え、古典文学作品の読解を無理なく関わらせてゆく。 また、文法習得のための練習問題は適宜用意し、利用する。			
備考				

教科名	国語科		科目名	国語総合（現国）
対象学年	高校1年		コース・選択	必修
単位数	2単位		教科書 （出版社）	国語総合（教育出版）
使用教材	入試漢字と現代文重要語キーワード漢字2700（浜島書店） 最新国語便覧（浜島書店）			
学習の ねらい	社会生活を営む際に必要な「生きていく力」としての国語に目を開かせる。 論理的、感性的に書くことができるような言語能力を身につける。 国際化、情報化の時代にふさわしいコミュニケーション能力を高める。 幅広い分野の文学作品に触れ、感性や想像力を伸ばす。			
学習 内容 と 流れ	学期・ 月等	単元	ねらい	留意点
	4月	小説 「羅生門」	①短編小説の特色を理解させ、人物の性格・心理・行動を読み取らせる。 ②高校生としての自我の自覚と、小説を自分の問題として読む態度を養わせる。	
	5月	評論 「ダイヤモンドと希望」	①文章の構成や展開、表現を味わう。 ②筆者の主張を的確に読み取る。	
	6月	詩 「甞のうへ」 「わたしが一番きれいだったとき」	①近代詩を鑑賞し、その技法について学ぶ。 ②作者の世界観や作品の作られた背景を確認。	
	7月	表現トレーニング	「意見と理由」の教材を用いて「論理的に考える」「論理的に伝える」を身につける。	
	9月 10月	評論 「自由の制服」	身近な問題や現代的な問題について疑問を感じたり考察したりする姿勢を養う。	

	学期・月等	単元	ねらい	留意点
学習内容と流れ	11月	小説 「清兵衛と瓢箪」	①登場人物の行動や考え方を物語の進行に即して読み取る。 ②作品の題名と主題との関わりについて考える。	
	12月	短歌・俳句	①短歌・俳句の形式や表現方法、鑑賞方法を学ぶ。 ②作者の心情を読み取り、歌や歌人への思いを深めさせる。	
	1月 2月	評論 「ブナの森で」	自然と人間、科学技術と人間社会といったテーマについて書かれた文章について、構成や展開を確かめながら筆者の主張を的確に読み取らせる。	
	3月	小説 「なめとこ山の熊」	①作品の独特な文体や表現方法についてその効果などを話し合う。 ②文学を鑑賞する意味について考える。	
学習の留意点・評価など	<ul style="list-style-type: none"> ・「関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」、「知識・理解」の5つの観点についてそれぞれの到達度を総合し、評価する。 ・提出物への取り組み、授業中の態度、音読・朗読、ノート、課題プリント、小テスト・グループ発表など様々な方面から評価する。 			
備考				

教科名	国語科	科目名	国語総合(古典)	
対象学年	高校1年	コース・選択	必修	
単位数	2単位	教科書(出版社)	国語総合(教育出版)	
使用教材	基礎学習システム必修古文(数研出版) 基礎学習システム必修古文演習ノート(数研出版) 基礎学習システム必修漢文(数研出版) 基礎学習システム必修漢文演習ノート(数研出版) 標準古典文法(第一学習社) 読んで見て覚える古文単語315(桐原書店) 漢文必携(桐原書店) 最新国語便覧(浜島書店)			
学習のねらい	長く人々が愛読し、鑑賞してきた古典作品の読解を通して、自身のものの見方・考え方を深める。文法事項(文語の用言・助動詞など)について学ぶ。古典背景をもとにした適切な現代語訳をする。他者に意見を伝え合い、他者の意見を傾聴することで、対話の中で新たな考えを身につける。			
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい	留意点
	1学期 4月	(古文)古文入門 『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 文語文法 「用言」・「助動詞」	古文に親しむ 用言の復習 文法理解 →助動詞「ず」・「けり」など	
	5月	(漢文)漢文入門 訓読の基礎 名言	漢文の基本的構造を理解する 書き下し文の復習 置き字 再読文字	
	6月 7月	(古文)『伊勢物語』 「筒井筒」 (漢文)『戦国策』 「蛇足」	文法理解 →助動詞「つ」・「ぬ」・「む」・「むず」・ 「べし」など 接続助詞「ば」 係り結びの法則 古文常識を理解する 登場人物の心情を把握する 句型理解 →願望・反語 重要語の確認 →「すなはち」・「つひに」など 故事成語を理解する	

学期・月等	単元	ねらい	留意点	
学習内容と流れ	2学期 9月 10月	(古文)『徒然草』 「丹波に、出雲といふ所あり」	文法理解 →助動詞「す」・「さす」・「しむ」・ 「たり」・「り」・「なり」など 敬語の基礎を理解する 動作の主体を明らかにして本文を読解する	
		(漢文)『史記』 「晏子之御」	重要語の確認 →「是を以て」「然るに」など 言動や状況を手掛かりとして、登場人物の心情を把握する	
	11月	(古文)『平家物語』 「木曾の最期」	文法理解 →助動詞「る」・「らる」など 音便 敬語（敬意の方向）の理解 軍記物語の特色・合戦の日々を送った人々の人生を考える	
	12月	(漢文)『戦国策』 「借虎威」	句型理解 →「使役」・「禁止」・「反語」 重要語の確認	
	1月	(古文)『伊勢物語』 「東下り」	文法理解 →助動詞総復習 和歌の修辭法を理解する	
	2月 3月	(漢文)『十八史略』 「死諸葛走生仲達」	句型理解 →「使役」・「比況」 重要語の確認 三国志に由来する故事成語を理解する	
学習の留意点・評価など	「関心・意欲・態度」・「話す、聞く能力」・「書く能力」・「読む能力」・「知識・理解」の5つの観点についてそれぞれの到達度を総合し、評価する。 提出物への取り組み、授業中の態度・ノート・小テスト・グループ活動など、様々な方面から評価する。			
備考				

教科名	国語科	科目名	現代文
対象学年	高校2年	コース・選択	コースⅠ・Ⅱ・Ⅲ
単位数	2単位	教科書 (出版社)	現代文B (第一学習社)
使用教材	○最新国語便覧 (浜島書店) ○入試漢字と現代文重要語キーワード漢字2700		
学習のねらい	○「関心・意欲・態度」、「話す、聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」 ○「知識・理解」といった観点にのっとり、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し、読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	(評論) 社会・見田宗介 『『自明性の罨』からの解放』	評論の基本的な読み方を習得する。また、『『自明性』の檻』から脱出することの意義を、自らの生活を通して考えを深める。
	5月 6月	(小説) 中島敦 『山月記』	表に現れたものでは知り得ない、人間存在の内奥について考え、小説の構造をなす事項(時・場・人物・事件設定)や人物の心理を的確に読み取る。
	7月	(詩歌) 宮沢賢治 『永訣の朝』	詩を読み、抒情世界の広がりや奥行きを学び、表現方法や想像力を育成する。近代詩が与えた影響と、詩人の生き方を考える。
	9月	(評論) 言語論・森田良行 『『私』中心の日本語』	筆者が指摘する日本語表現の特性を正しく読み取る。日本人が自らを取り巻く周囲の人々をどのように捉えているか、自身の視点から考え理解する。
	10月 11月 12月	(小説) 夏目漱石 『こころ』	登場人物の心理的变化を正確に読み取り、明治という時代の制度や理念などを調べ、登場人物の行動を読み取る中から、人間の精神のあり方について考える。
	1月	(評論) 文化論・高階秀爾 『『間』の間隔』	二項対立を指摘するだけではなく、どの部分が共通していてどの部分が対比になっているのか、的確に押さえられるようにする。
	2月 3月	(評論) 文化論・住原則也 『『グローバル化』の中の異文化理解』	グローバル化の背景にある経済・社会・技術の変化について理解する。また、グローバル化の裏に「共通化・普遍化」、「個別化」の二面性があることを理解する。
学習の留意点・評価など	現代社会に対応する国語力を身につけさせ、新しい時代の感性をもって言語文化への関心を高めさせる。 提出物への取り組み・授業中の態度・小テスト・グループ活動など、様々な方面から評価する。		

教科名	国語科	科目名	古典
対象学年	高校2年	コース・選択	コースⅠ・Ⅱ・Ⅲ
単位数	2単位	教科書 (出版社)	古典B 古文編・漢文編(第一学習社)
使用教材	基礎学習システム必修古文(数研出版) 基礎学習システム必修古文演習ノート(数研出版) 基礎学習システム必修漢文(数研出版) 基礎学習システム必修漢文演習ノート(数研出版) 標準古典文法(第一学習社) 読んで見て覚える古文単語315(桐原書店) 最新国語便覧(浜島書店)		
学習のねらい	長く人々が愛読し、鑑賞してきた古典作品の読解を通して、自身のものの見方・考え方を深める。文法事項(文語の用言・助動詞など)について学ぶ。古典背景をもとにした適切な現代語訳をする。他者に意見を伝え合い、他者の意見を傾聴することで、対話の中で新たな考えを身につける。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	(古文)『宇治拾遺物語』 「袴垂、保昌に合ふ事」	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞及び助詞の復習 ・敬語表現を理解する ・登場人物の行動を整理し、心情を読み取る
	5月	(漢文)『孫子』 「呉越同舟」	<ul style="list-style-type: none"> ・句型理解 →「使役」・「疑問」 ・重要語の確認
	6月 7月	(古文)『更級日記』 「門出」	<ul style="list-style-type: none"> ・文法理解 →助動詞・助詞・副詞「いかで」など ・平安朝の代表的な女流日記文学を読み味わい、作者の生き方やものの見方や考え方を理解する
		(漢文)『柳先生文集』 「黔之驢」	<ul style="list-style-type: none"> ・句型理解 →限定・感嘆 ・「虎」と「驢」のやり取りを踏まえて、作者の主張を読み取る

	学期・月等	単元	ねらい
学習内容と流れ	2学期 9月 10月	(古文)『源氏物語』 「若紫」	<ul style="list-style-type: none"> ・既知の文法知識を確認しながら、的確に現代語訳をする ・『源氏物語』の世界観に触れ、当時の貴族社会について理解する
	11月	(漢文)『史記』 「四面楚歌」	<ul style="list-style-type: none"> ・句型理解 →感嘆・疑問・反語 ・話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読み取る。
	12月	(古文)『枕草子』 「雪のいと高う降りたるを」	<ul style="list-style-type: none"> ・既知の文法知識を確認しながら、的確に現代語訳をする ・作者の機知に富んだ受け答えを理解し、作品の面白さを味わう ・『白氏文集』との関わりを学ぶ
	3学期 1月	(古文)『大鏡』 「道長の豪胆」	<ul style="list-style-type: none"> ・既知の文法知識を確認しながら、的確に現代語訳をする ・副助詞（だに・のみ・さへなど）を理解する ・歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を読み味わう
	2月 3月	(漢文) 漢詩	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩の基礎を把握する ・「絶句」「律詩」の特徴を理解する ・漢詩の表現の美しさやリズムをとらえ、自然の巧みな描写に気をつけながら作者の心情を把握する
学習の留意点・評価など	<p>「関心・意欲・態度」・「話す、聞く能力」・「書く能力」・「読む能力」・「知識・理解」の5つの観点についてそれぞれの到達度を総合し、評価する。</p> <p>提出物への取り組み、授業中の態度・ノート・小テスト・グループ活動など、様々な方面から評価する。</p>		
備考			

教科名	国語科	科目名	現代文
対象学年	高校3年	コース・選択	コースI
単位数	3単位	教科書 (出版社)	精選現代文B (東京書籍)
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・最新国語便覧 (浜島書店) ・キーワード漢字2700 入試漢字と現代文重要語 (浜島書店) 		
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。 ・高校生の社会的自立を可能とする知性や感性、さらには総合的実践力を育成するに足る言語力を身につける。 		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	(評論) 時間論・見田宗介 「鏡の中の現代社会」	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された結論がどのような論証の過程を経て導かれたものであるかを読み取る。 ・「近代的な価値観」の見直しから、現代社会における自分の生き方について考える。
	5月	(小説) 小川洋子 『トランジット』	<ul style="list-style-type: none"> ・現代小説を読み、場面や登場人物の設定と話の展開を捉える。 ・人間が背負う歴史を見つめる視点を通して、これからの生活を見つめ直す。
	6月	(詩歌) 宮沢賢治 「永訣の朝」	<ul style="list-style-type: none"> ・詩を読み、抒情世界の広がりや奥行きを学び、表現方法や想像力を育成する。 ・近代詩が与えた影響と、詩人の生き方を考える。
	6月 7月	(随想) 須賀敦子 「クレールという女」	<ul style="list-style-type: none"> ・本文で描かれた人生と、筆者自身の人生に注目し、その中で生き方の葛藤と暗示を捉える。 ・文章表現に注意を払わせながら、叙情的な随想をじっくりと味わわせる。 ・戦時下から戦後の「生き方」をめぐる葛藤や人生の暗示を、現実の生活へ掘り下げる。
	7月 9月	(評論) 哲学論・野矢茂樹 「他者の声 実在の声」	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象度の高い内容の評論から筆者の考察を読み取る。 ・「外」や「内」の対比を通じ、人間存在の捉え方の幅を広げ、自身の在り方について考える。
	10月 11月	(小説) 森鷗外 『舞姫』	<ul style="list-style-type: none"> ・描かれた人物・情景・心情などを表現に即して読み味わう。 ・ものの見方・感じ方・考え方を広げたり、深めたり、特に近代日本と個人の生き方との関係について考える。
	12月 1月	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書から適宜文章を選択し、演習を行う。 ・初見の文章から1年間で培ってきた読解力や、考察する力を確かめる。
学習の留意点・評価など	<p>漢字、現代語等の小テストも定期的に行う。</p> <p>提出物への取り組み・授業中の態度・小テスト・グループ活動など、様々な方面から評価する。</p>		

教科名	国語科	科目名	古典
対象学年	高校3年	コース・選択	コースI
単位数	2単位	教科書 (出版社)	精選古典B 古文編・漢文編 (東京書籍)
使用教材	○最新国語便覧 (浜島書店) ○読んで見て覚える古文単語315 ○チャート式必修古文・同演習ノート (数研出版) ○チャート式必修漢文・同演習ノート (数研出版) ○標準古典文法 (第一学習社)		
学習のねらい	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	(古文) 徒然草「家居のつきづきしく」 演習	随筆文学が作者の自由な目で記されたものであり、題材・文体が多岐にわたることを理解する。隠者文学としての『徒然草』の文学史的位置を理解する。
	5月	(漢文) 十八史略「鶏鳴狗盗」 演習	戦国時代の国名・地名を函谷関を中心に理解する。孟嘗君の人物像について考える。故事成語としての「鶏鳴狗盗」の意味を確認する。
	6月	(古文) 日記「和泉式部日記」 演習	日記の概要、和泉式部が勅撰集入集歌の多い有名な歌人であることを学ぶ。作者のことが「女」と記される理由を考え、この日記の特徴を理解する。
	7月	(漢文) 漢詩 演習	唐詩(近体詩)の基本となる規則と特徴を復習する。詩にうたわれた状況を理解する。詩の表現のおもしろさを理解する。
	9月	(古文) 物語「落窪物語」 演習	王朝文学としての『落窪物語』について成立時期、内容について理解する。作品紹介などを利用して、もの物語の概要を把握する。
	10月	(漢文) 白楽天「長恨歌」 演習	「長恨歌」の時代背景を理解する。全体のあらすじを捉える。『源氏物語』への影響を考える。
	11月	(古文) 物語「源氏物語：車争ひ」 演習	『源氏物語』に関する知識を確認する。『源氏物語』の世界や表現のすばらしさを考える。車争いの要因となった状況を把握する。六条の御息所の心情を理解する。
	12月	(漢文) 思想「人間論」 演習	諸子百家について概略を理解する。儒家の学問観について理解する。
	1月	(古文) 俳諧：芭蕉	五七五の短詩形文学の俳句の源流が江戸時代にあることを知り、芭蕉が俳諧文学に残した足跡を知る。芭蕉の俳諧を読み味わう。
学習の留意点・評価など	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深める。 古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考え方を深め、発展させる。 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付ける。		

教科名	国語科	科目名	現代文
対象学年	高校3年	コース・選択	コースⅡ
単位数	3単位	教科書 (出版社)	精選現代文B (東京書籍)
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・最新国語便覧 (浜島書店) ・キーワード漢字2700 入試漢字と現代文重要語 (浜島書店) 		
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。 ・高校生の社会的自立を可能とする知性や感性、さらには総合的実践力を育成するに足る言語力を身につける。 		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	(評論) 時間論・見田宗介 「鏡の中の現代社会」	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された結論がどのような論証の過程を経て導かれたものであるかを読み取る。 ・「近代的な価値観」の見直しから、現代社会における自分の生き方について考える。
	5月	(小説) 小川洋子 『トランジット』	<ul style="list-style-type: none"> ・現代小説を読み、場面や登場人物の設定と話の展開を捉える。 ・人間が背負う歴史を見つめる視点を通して、これからの生活を見つめ直す。
	6月	(詩歌) 宮沢賢治 「永訣の朝」	<ul style="list-style-type: none"> ・詩を読み、抒情世界の広がりや奥行きを学び、表現方法や想像力を育成する。 ・近代詩が与えた影響と、詩人の生き方を考える。
	6月 7月	(随想) 須賀敦子 「クレールという女」	<ul style="list-style-type: none"> ・本文で描かれた人生と、筆者自身の人生に注目し、その中で生き方の葛藤と暗示を捉える。 ・文章表現に注意を払わせながら、叙情的な随想をじっくりと味わわせる。 ・戦時下から戦後の「生き方」をめぐる葛藤や人生の暗示を、現実の生活へ掘り下げる。
	7月 9月	(評論) 哲学論・野矢茂樹 「他者の声 実在の声」	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象度の高い内容の評論から筆者の考察を読み取る。 ・「外」や「内」の対比を通じ、人間存在の捉え方の幅を広げ、自身の在り方について考える。
	10月 11月	(小説) 森鷗外 『舞姫』	<ul style="list-style-type: none"> ・描かれた人物・情景・心情などを表現に即して読み味わう。 ・ものの見方・感じ方・考え方を広げたり、深めたり、特に近代日本と個人の生き方との関係について考える。
	12月 1月	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書から適宜文章を選択し、演習を行う。 ・初見の文章から1年間で培ってきた読解力や、考察する力を確かめる。
学習の留意点・評価など	<p>漢字、現代語等の小テストも定期的に行う。</p> <p>提出物への取り組み・授業中の態度・小テスト・グループ活動など、様々な方面から評価する。</p>		

教科名	国語科	科目名	古典
対象学年	高校3年	コース・選択	コースⅡ
単位数	3単位	教科書 (出版社)	精選古典B 古文編・漢文編(東京書籍)
使用教材	○最新国語便覧(浜島書店) ○読んで見て覚える古文単語315 ○チャート式必修古文・同演習ノート(数研出版) ○チャート式必修漢文・同演習ノート(数研出版) ○標準古典文法(第一学習社)		
学習のねらい	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	(古文) 徒然草「家居のつきづきしく」 助動詞の復習	随筆文学が作者の自由な目で記されたものであり、題材・文体が多岐にわたることを理解する。隠者文学としての『徒然草』の文学史的位置を理解する。
	5月	(漢文) 十八史略「鶏鳴狗盗」 句形の理解	戦国時代の国名・地名を函谷関を中心に理解する。孟嘗君の人物像について考える。故事成語としての「鶏鳴狗盗」の意味を確認する。
	6月	(古文) 日記「和泉式部日記」 助詞の習得	日記の概要、和泉式部が勅撰集入集歌の多い有名な歌人であることを学ぶ。作者のことが「女」と記される理由を考え、この日記の特徴を理解する。
	7月	(漢文) 漢詩 句形の理解	唐詩(近体詩)の基本となる規則と特徴を復習する。詩にうたわれた状況を理解する。詩の表現のおもしろさを理解する。
	9月	(古文) 物語「落窪物語」 その他の文法事項	王朝文学としての『落窪物語』について成立時期、内容について理解する。作品紹介などを利用して、もの物語の概要を把握する。
	10月	(漢文) 白楽天「長恨歌」 句形の理解	「長恨歌」の時代背景を理解する。全体のあらすじを捉える。『源氏物語』への影響を考える。
	11月	(古文) 物語「源氏物語：車争ひ」 読解の練習	『源氏物語』に関する知識を確認する。『源氏物語』の世界や表現のすばらしさを考える。車争ひの要因となった状況を把握する。六条の御息所の心情を理解する。
	12月	(漢文) 思想「人間論」 読解の練習	諸子百家について概略を理解する。儒家の学問観について理解する。
	1月		
学習の留意点・評価など	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深める。 古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考え方を深め、発展させる。 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付ける。		

教科名	国語科	科目名	精選現代文B
対象学年	高校3年	コース・選択	コースⅢ
単位数	2単位	教科書 (出版社)	東京書籍
使用教材	最新国語便覧(浜島書店) キーワード漢字2700 入試漢字と現代文重要語(浜島書店)		
学習のねらい	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し、読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	(評論) 時間論・見田宗介 「鏡の中の現代社会」	・提示された結論が、どのような論証の過程を経て導かれたものであるかを読み取る。 ・「近代的な価値観」の見直しから、現代社会における自分の生き方について考える。
	5月	(小説) 小川洋子 『トランジット』	・現代小説を読み、場面や登場人物の設定と話の展開を捉える。 ・人間が背負う歴史と、それを見つめる視点を通じて、洞察力を養う。
	6月	(詩歌) 宮沢賢治 「永訣の朝」	・詩を読み、抒情世界の広がりや奥行きを学び、表現方法や想像力を育成する。 ・近代詩が与えた影響と、詩人の生き方を考える。
	6月 7月	(随想) 須賀敦子 「クレールという女」	・文章表現に注意を払わせながら、叙情的な随想をじっくりと味わわせる。 ・戦時下から戦後の「生き方」をめぐる葛藤や人生の暗示を、現実の生活へ掘り下げる。
	7月	(評論) 哲学・野矢茂樹 『他者の声 実在の声』	・抽象度の高い内容の評論から、筆者の考察を読み取る。 ・「外」や「内」の対比を通じ、人間存在の捉え方の幅を広げ、自己の在り方について考える。
	9月	(小説) 森鷗外 『舞姫』	・描かれた人物・情景・心情などを表現に即して読み味わう。 ・ものの見方・感じ方・考え方を広げたり、深めたり、特に近代日本と個人の生き方との関係について考える。
	10月 11月		
	12月 1月	演習	大学入試に向けての実践的演習を行い、読解力や考察力を確かめる。
学習の留意点・評価など	漢字、現代語などの小テストも定期的に行う。センター演習、私大対策演習も適宜行う。 高校生の社会的自立を可能とする知性や感性、さらには創造的実践力を育成するに足る言語力を身につけさせる。 提出物への取り組み・授業中の態度・小テスト・グループ活動など、様々な方面から評価する。		

教科名	国語科	科目名	古典
対象学年	高校3年	コース・選択	コースⅢ
単位数	2単位	教科書 (出版社)	精選古典B 古文編・漢文編(東京書籍)
使用教材	○最新国語便覧(浜島書店) ○読んで見て覚える古文単語315 ○チャート式必修古文・同演習ノート(数研出版) ○チャート式必修漢文・同演習ノート(数研出版) ○標準古典文法(第一学習社) ○センター試験対策オリジナル問題集 古典C1～C9		
学習のねらい	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	(古文) 徒然草「家居のつきづきしく」 演習	随筆文学が作者の自由な目で記されたものであり、題材・文体が多岐にわたることを理解する。隠者文学としての『徒然草』の文学史的位置を理解する。
	5月	(漢文) 十八史略「鶏鳴狗盗」 演習	戦国時代の国名・地名を函谷関を中心に理解する。孟嘗君の人物像について考える。故事成語としての「鶏鳴狗盗」の意味を確認する。
	6月	(古文) 日記「和泉式部日記」 演習	日記の概要、和泉式部が勅撰集入集歌の多い有名な歌人であることを学ぶ。作者のことが「女」と記される理由を考え、この日記の特徴を理解する。
	7月	(漢文) 漢詩 演習	唐詩(近体詩)の基本となる規則と特徴を復習する。詩にうたわれた状況を理解する。詩の表現のおもしろさを理解する。
	9月	(古文) 物語「落窪物語」 演習	王朝文学としての『落窪物語』について成立時期、内容について理解する。作品紹介などを利用して、もの物語の概要を把握する。
	10月	(漢文) 白楽天「長恨歌」 演習	「長恨歌」の時代背景を理解する。全体のあらすじを捉える。『源氏物語』への影響を考える。
	11月	(古文) 物語「源氏物語：車争ひ」 演習	『源氏物語』に関する知識を確認する。『源氏物語』の世界や表現のすばらしさを考える。車争ひの要因となった状況を把握する。六条の御息所の心情を理解する。
	12月	(漢文) 思想「人間論」 演習	諸子百家について概略を理解する。儒家の学問観について理解する。
	1月	特別授業 演習	入試に向けた演習を行う。
学習の留意点・評価など	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深める。 古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考え方を深め、発展させる。 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付ける。		

教科名	国語科		科目名	国語表現
対象学年	高校3年		コース・選択	コースⅠ（A4）
単位数	2単位		教科書 （出版社）	国語表現Ⅰ（第一学習社）
使用教材	国語表現ワークノート（第一学習社）			
学習のねらい	日常生活における言語活動を、語彙・技術の面を含めて豊かにする。 言語・文字を用いない表現や、舞台芸術にも目を向け、理解を含める。 現代だけでなく、日本古来の優れた表現にも目を向けさせ、興味を持たせる。 実践活動を通して、表現力を確実に身に付け、表現する楽しさを実感する、			
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい	留意点
	1学期 4月	舞台芸術における表現	芸術鑑賞会に向けて、舞台芸術における表現に興味を持つ。 ①歌舞伎・文楽・能・狂言等、古典芸能における表現を理解させる。 ②歌舞伎を鑑賞して、作法や表現などを体験し、将来に続く興味を育む。	①西洋的な芸術表現に目を向けがちな日常であるが、今も受け継がれている日本固有の芸術・芸能に気付かせ、興味を持たせる。 ②舞台芸術における表現を通して、日本語の魅力について理解させる。
	5月	スピーチ	①スピーチの内容にふさわしい事柄・エピソードを考える ②論理的かつ文学的文章となるよう、表現に工夫を凝らす ③スピーチをする・スピーチを聞く態度を身に付ける。	①自己の主張が正確に伝わるように、内容を吟味し、表現に工夫を凝らして、スピーチにふさわしい原稿を書かせる。
	6月	表現の工夫	①種々の表現技法とその効果について理解する。 ②文章中の表現技法の効果について分析し、自らの表現にも工夫を凝らす態度を身に付ける。	①比喩・オノマトペ・倒置法・体言止め等の技法と効果についての理解を深めさせる。 ②ことわざ・故事成語・慣用句等、語彙を増やし、豊かな表現力を身に付けさせる。
	7月	手紙の書き方 （ハガキ編）	手紙（ハガキ）の形式を学習し、用途に応じた適切な手紙を書く。	目上の相手にふさわしい暑中見舞いを書かせる。

	学期・月等	単元	ねらい	留意点
学習内容と流れ	2学期 9月 10月	図書紹介	<ul style="list-style-type: none"> ①自己の主張を的確に相手に伝え、相手を説得する表現力を身に付ける。 ②文章を簡潔にまとめるため、引用やキヤッチコピーを効果的に活用する。 ③図書製本の各部の名称や、分類記号を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ①プレゼンテーション技術を身に付けさせる。 ②図書館の利用方法を確認させる。
	11月 12月	点字	<ul style="list-style-type: none"> ①言語・文字を用いた表現以外にも表現の方法があることに気付く。 ②その一つである点字を学び、身近にある点字の表現を意識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①点字の歴史・なりたち・きまりを理解させる。 ②点字の読み方。書き方を身に付けさせる。 ③点字器を用いて、点字を用いた文章を書かせる。
	3学期 1月	手紙の書き方 (便箋・封筒編)	<ul style="list-style-type: none"> ①手紙（便箋・封筒）の形式を学習し、用途に応じた適切な手紙を書く。 ②時候の挨拶等、季節感を表す表現を身に付ける。 ③正しい敬語の使い方を身に付ける。 	目上の相手にふさわしい手紙を書かせる。
学習の留意点・評価など	実践を多く取り入れて、現実に応じた表現力を身に付けさせる。			
備考	DVD等の映像教材を活用する。			

教科名	国語科	科目名	古典演習
対象学年	高校3年	コース・選択	コースII
単位数	2単位	教科書 (出版社)	古典B (古文編・漢文編) (教育出版)
使用教材	自主教材 (古典文法習得のためのプリント・漢文句形習得のためのプリント) 大学入試問題		
学習のねらい	古文漢文の基礎事項を習得し、読解レベルの訓練をすることで大学入試に対応できる実力を養成する。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	4月	漢文句形の理解	全句形の理解
	5月	古典文法助動詞の復習	全助動詞の徹底習得練習
	6月	古典文法助詞の理解と定着	全助詞の理解と徹底習得練習
	7月	漢文読解①	難易度の低めな漢文読解練習
	9月	古文読解②	辞書を用いない口語訳訓練による読解練習
	10月	古文読解③	大学入試問題のテストゼミ演習
	11月	古文読解④ 漢文読解②	大学入試問題のテストゼミ演習
	12月	古文読解⑤ 漢文読解③	大学入試問題のテストゼミ演習
	1月 2月 3月		
学習の留意点・評価など	評価にあたっては次の四つの観点を設定する。 1、関心・意欲・態度 2、知識・理解 3、理解力・読解力 4、鑑賞		

教科名	国語科	科目名	現代文センター演習 B1
対象学年	高校3年	コース・選択	コースII
単位数	2単位	教科書 (出版社)	—
使用教材	2019 センター試験対策問題集⑤ 国語 現代文		
学習のねらい	評論、小説センター対策問題を扱い、テストゼミ形式の演習によって現代文の実践力を身に付ける。		
学習内容 と流れ	学期・ 月等	単元	留意点
	1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・センター試験形式の良問、過去問を適宜扱う。 ・各学期、評論と小説を交互に取り扱う。 ・評論、小説における重要語句を毎回学習し、定着につなげる。 ・根拠を明確にした解法を意識して解く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演習において、20分での解答時間を厳守する
	2学期		
学習の留意点・評価など	<ul style="list-style-type: none"> ・能動的な学びができているか。 ・実力養成のための演習になっているか。 ・本文などの根拠をもとに、問いを解くことが出来ているか。 		
備考			

教科名	国語科	科目名	B2 現代文演習
対象学年	高校3年	コース・選択	IIコース・B2選択
単位数	2単位	教科書 (出版社)	ちくま評論入門 (筑摩書房)
使用教材	ちくま評論入門 (筑摩書房)、実践テストセンター試験対策 (京都書房) 入試問題過去問 (プリント)		
学習のねらい	さまざまなジャンルの評論文に触れ、大学入試頻出の評論文の読解力を身につける。 実際の入試過去問にも触れ、解答力を高める。		
学習 内容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い
	4月	未来の他者と連帯する (入試過去問)	大学入試頻出の著者の評論文を読み、読解の基礎を確認する。
	5月	衣服という社会 (入試過去問)	社会論における事象の捉え方を確認する。
	6月	科学が宗教になる (入試過去問)	科学論に於ける頻出著者の評論を通して、科学的思考に触れる。
	7月	他者の言葉	言語論・コミュニケーションに触れる。
	9月	「つながり」と「ぬくもり」	入試最頻出の著者の評論を通して、社会関係論に触れる。
	10月	人間と政治 (入試過去問)	政治・社会論の古典的な評論に触れる。
	11月	部分と全体	文化論・時間論に於ける概念の捉え方を身につける。
	12月	(入試過去問)	入試の実践的演習を通して、学力の完成を図る。
学習の 留意点・ 評価など	自ら読み、考える、主体的な学習への取り組みを演習形式の授業を通して身につけさせることで、大学入試に於ける実力を養成する。評論文を論理的に読み、設問へとアプローチする力を重視する。		
備 考	入試過去問については、生徒の志望状況等に配慮して、随時選択していく。		